

第21回終戦記念展

描かれた戦争

— 絵に託した思い —



今回の展覧会では、戦場に赴いた兵士が描いた戦争画、兵士が厳しい環境の中で故郷に送ったはがきや挿絵などから、現地の人々の素朴な日常生活を紹介します。また、子どものクレヨン画からは、戦時下における学校の様子と、そこに生きた子どもたちの姿に迫ります。



会期

令和5年 **7月25日** 火 ~ **9月3日** 日

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日

会場

浅井歴史民俗資料館 1階展示室

入場料

一般:300円(団体250円)

小・中学生:150円(団体130円)

歴史講座①

「子どもたちが描いた戦争」

講師: 日高 昭子氏 (滋賀県平和祈念館 学芸員)

日時 令和5年 **8月6日** 日 午後1時30分～3時

受講料 一人 **500円**(あざい歴史の会員は無料)

会場 長浜市立浅井図書館 2階視聴覚室

申込み 浅井歴史民俗資料館までお電話にてお申し込みください。(月曜休館)

定員 **50名**(要予約・人数に達し次第受付を締切ります)

TEL/FAX 0749-74-0101 (9:00～17:00)

浅井歴史民俗資料館

〒526-0251 滋賀県長浜市大依町 528 (浅井文化スポーツ公園内)
TEL/FAX 0749-74-0101 E-mail rekiminn@city.nagahama.lg.jp

描かれた戦争

— 絵に託した思い —

【展示構成】

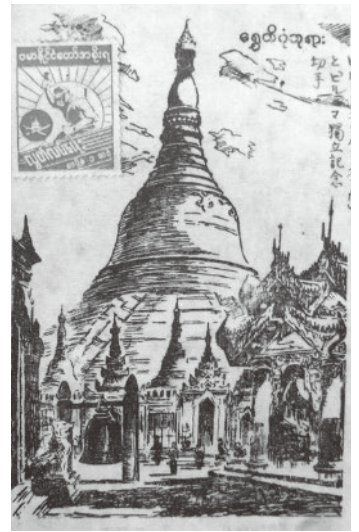
1. 描かれたビルマの日常

太平洋戦争でビルマ(現ミャンマー)に出征し、戦後、芸術家に転身した元岐阜県職員・藤原市三郎さん(1911~75)が戦時中に現地を描いたスケッチや絵手紙などをまとめた画帳を紹介。令和4年(2022)には出身地・岐阜県揖斐川町の「春日森の文化博物館」で公開された。

「緬甸乃思出(ビルマの思い出)と題された画帳には、現地の市場や祭りの様子、製材所で丸太を運ぶゾウなど、生き生きとしたスケッチや軍事郵便の絵手紙計220点が収められている。

妻・裕子さん宛ての軍事郵便には、現地の草花の絵やチョウの鱗粉標本に、「僕たちの心を慰めてくれる愛らしい花」「これからも珍しい花等画いて送ってあげようと思っている。では体大切に」などの文面が添えられている。

一部に記載された日付から、軍事郵便は戦況が比較的落ち着いていた1942~43年頃、スケッチは収容所時代に描かれたものが多いとみられる。殺伐とした戦場にながら、ビルマの素朴な自然や現地の人たちの日常を描いた貴重な資料である。



ビルマの第一パゴマ



左・藤原市三郎さん



ドリアンの実を取る少年



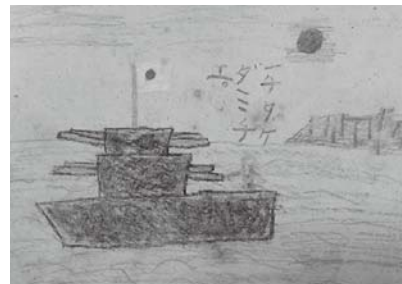
藤原市三郎さん

藤原市三郎さんの歩み

- 1911年 旧春日村(現揖斐郡揖斐川町)で生まれる
- 1936年 旧揖斐実業学校(現揖斐高等学校)を卒業、岐阜県職員となる
- 1942年 ビルマ(現ミャンマー)に派遣、野戦郵便隊に属する
- 1945年 終戦
- 1946年 収容生活を経て復員、県庁へ復職後、退職
日本画や彫刻などの芸術活動に取り組み、特に石彫作品を多く残した
- 1975年 死去

2. 少女の描いたクレヨン画

長浜市出身の武田倫江さん(1936年生まれ)は、長浜国民学校3年生だった昭和20年(1945)に終戦を迎えた。資料群は、国民学校1年生から3年生の時に描かれたものを母が大切にとっておいたものという。ほかにも、兵隊が描かれたノートや、慰問のために書いた手紙など、いかに子どもたちの暮らしの隅々にまで、戦争が入り込んでいたかがわかる貴重な資料約50点を紹介。



1年生のノート



武田倫江さん(7歳)

男の子は兵隊さんになるものと決まっていた…。

昭和19年(1944)、倫江さんは、長浜国民学校(現在の長浜小学校)に入学。

「戦争の頃は、男の子は兵隊さんになるものと決まっていたでしょ。だから男の子は戦争ごっこかしていました。女の子は看護婦さんにあこがれていたんですよ。傷ついた兵隊さんを看病する看護婦さんに…。10人のうち9人は看護婦さんになりたいと思っていたんじゃないかなあ…。」

武田さんは、絵を描くことがとても好きで、花や遊びの絵を描いていたが、次第に戦争の絵を描くようになった。

「紙の切り抜き細工でも、はじめから軍艦の絵なんかを描いたものを与えられましたからね。そういう教材が多かった。もう『お国のために』ということが頭にこびりついていました。軍艦の絵とか飛行機の絵を描いたら、先生は三重丸をくれるんです。」

戦時下における学校の様子と、そこに生きた子どもたちの姿を紹介。



【交通アクセス】

◎JR長浜駅から車で約20分

◎湖国バス高山線で浅井三姉妹の郷下車徒歩約10分

浅井歴史民俗資料館

〒526-0251 滋賀県長浜市大依町528 (浅井文化スポーツ公園内)
TEL/FAX 0749-74-0101 E-mail rekiminn@city.nagahama.lg.jp

□開館時間/午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) □休館日/月曜日

□入館料/大人300円 小中学生150円(団体割引20名様以上 一般250円 小中学生130円)

※長浜市・米原市の小中学生は無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)